



生きる力を豊かにたくましく

あいほうぶたより

NO. 277 発行責任者 仁木 悟



新年のごあいさつ



新年あけましておめでとうございます。2026年がスタートしました。

今年は「障害者の権利に関する条約」(障害者権利条約)が、2006年12月に国連で採択されて20周年の節目の年でもあります。障害者権利条約は、「障害のある人もない人も、みんなが平等に、尊厳を持って、自分らしく地域で暮らせる社会を作ろう！」という世界基準のルールです。

そして、吹田市立障害者支援交流センターあいほうぶ吹田にとっても、2026年は開所して25周年を迎える節目の年です。あらためてあいほうぶ吹田もこの世界基準に基づき、すべての地域の方々に開かれ、有効に活用して頂ける施設としての役割を果たせるように努めてまいります。

本年もどうぞよろしくお願ひ致します。

施設長 仁木悟



ピース班で製作した
馬のお面です

アイビー班

旧年中は格別のお引き立てを賜り、誠にありがとうございました。
昨年は施設でのお祭りや、音楽セラピー、お菓子作り、そして盛り上がった万博への所外活動や、快晴の日に伊丹空港へ飛行機を見に行ったりしました。

また、地域の皆さまにはさまざまな場面でお力添えをいただき、心より感謝申し上げます。ボランティアの皆様の行事への参加、温かなつながりによって、この地域で支えられていると感じています。

本年も皆様と一緒に楽しい活動ができるよう、元気に過ごしたいと思います。



青空の下、気持ち良い！



去年は所外活動や音楽セラピー、そしてお祭り等でたくさん楽しみました



みらいぐる班



今年も笑顔のあふれる一年になりますように

新年あけましておめでとうございます。

昨年は、日々の活動へのご理解とご協力を賜り心よりお礼申し上げます。シットウやバジル等の栽培など、班での取り組みや行事を通して、皆さんと一緒に笑ったり、挑戦したりできたことがとても励みになりました。本年も安心して過ごせる時間づくりを大切にしながら、毎日の小さな楽しみを積み重ねていけるよう、全員で励んでまいります。施設に来て頂く方みんなに、「今年もここに来て良かった」と思っていただけるよう、無理なく、少しずつ、共に歩んでいきたいと思っています。



あいほうぶ吹田の花壇の仕事頑張っています

地域の方に育てたお花を配付

宇宙班

新年あけましておめでとうございます。私達は主に花壇の管理、清掃業務の外での仕事をしています。夏の暑い日は交代制で行ない、そして秋冬は落葉清掃を利用者が協力して行ってきました。また年2回の花壇の花の植え付けも、種類や配置をみんなで話し合い、あいほうぶの利用者みんなで花壇を綺麗にしています。現在、春の花を植えていますので、暖かくなる頃に満開になるので、地域の皆様も花の成長を見に来てください。



調理実習などいろいろな経験をしました

日本最長420mの吊り橋に所外活動に行きました！

ピース班

新年あけましておめでとうございます。

昨年は、所外活動や調理実習など、たくさんの行事に取り組む事ができました。また「生産活動」は、一緒に一つの事を取り組む楽しさと、毎日の仕事の大変さを感じながら取り組んできました。施設での生活が充実したものになるように、2026年も活動していきたいと思っております。本年もどうぞよろしくお願いします。

小高さんと一緒に考えよう

現在、世界各地で戦争や紛争が起きています。そして、収まる気配がありません。実際の戦争を知らない私達の多くは理解できないことが大半です。今回はそんな私達にも、当事者の気持ちが少し見えるお話を。



「もう戦争はすんだのだ。私たちは負けたのだ。今日は何もせずに寝て暮らそうやと、朝飯を終わると皆はごろごろ転がって… 患者から迎えが来た。国敗れて何の患者ぞや…」

これは、日本の敗戦を知った直後の永井隆さんの心境を綴った、「長崎の鐘」の一節です。敗戦を知り、無力感や虚無感に襲われた事が書かれています。原爆を体験し、愛妻を失った永井さんです。戦争が終わったと聞けば、ほっと胸をなで下ろしたと小高さんは思っていました。しかし、彼が感じたのは、安心ではなく、深い空虚さでした。

当時、「国」は単なる政治的な枠組みでなく、何が正しく、何のために生き、何に尽くすのかを示す、ゆるぎない基準だったようです。「国」は

彼のアイデンティティの支柱だったと言っても過言ではありません。そして、この様な空虚さは、当時の日本国民の多くが感じたものであったはずです。

このことは、今も続くウクライナ戦争等を考える際にも、重なって見えてくるものがあります。ウクライナやロシア等の多くの市民にとっても「国」は単なる領土や制度ではなく、自分は何者なのか、何を守るかを示す、存在の核となっていることが予想できます。だからこそ戦争は簡単には終わりません。仮に停戦が実現しても、それが「国家としての敗北」や「正しさの否定」と受けとめられるなら、人々の心は簡単に折り合いがつかないのです。

永井さんはその虚無の中から、祈りと奉仕によって、「国」に代わる新たな拠りどころを見出していました。戦争は、武器を置けば終わるものではなく、人が何を拠りどころに生きるかという問いに答えが見つかるまで続いてしまうのかもしれません。

これは遠い過去の記録ではなく、今の世界、そして私たち自身の生き方にも、静かに問を投げかけているように小高さんは思っています。

大盛り上がり。午後は各事業所が考えた○×クイズをしました。あいこうぶではピース班が考えた問題を出題しました。



みんなでクイズの解答を考え、盛り上りました

「第38回北摂なかまの交流会」

12/15(月)に吹田市立北千里体育館にて開催されました。あいこうぶからはピース班と宇宙班(有志)が参加しました。

北摂地域(吹田・高槻・茨木・豊中)の事業所が集まるのはコロナ禍以降初の対面イベントということで、300人近くの利用者・職員が集結しました。

当日はなんと「すいたん」や茨木市の「いばらき童子」豊中市の「マチカネくん」がかけつけてくれて、みなさん嬉しそうに一緒に写真を撮られていました。久しぶりの大きなイベントとなり、みなさんの笑顔を見ることができました。

午前はボッチャ・玉入れ・ボーリングを体験し、

プール・介助浴室を開放しています

土曜日、日曜日はあいほうぶ吹田の温水プールと介助浴室を一般の方に開放しています。

プールや入浴は、リハビリにも効果的ですので、ぜひご利用ください。

●利用できる方：吹田市内にお住まいで、障がい者手帳をお持ちの18歳以上の方とその介助者。

プールは18歳未満の方も利用できますが、18歳以上の介助者の同伴が必要です。

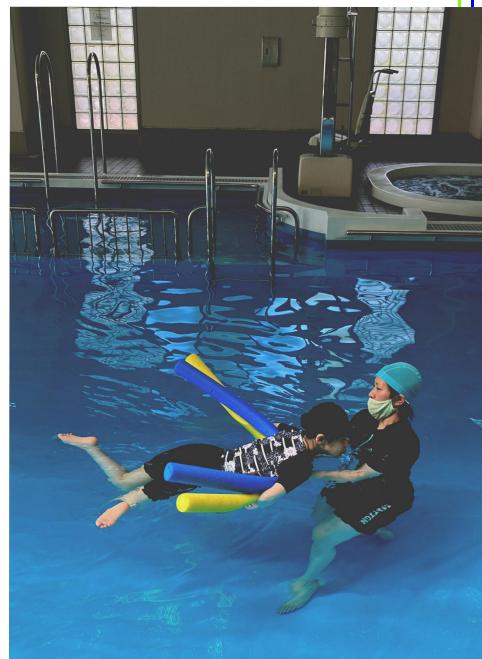
●利用時間：10時～16時

注意事項 プール利用について

- ・混雑を避ける為に定員を設けています。
- ・スイミングキャップが必要です。
- ・受付で障がい者手帳を提示し、手続きをしてください。
- ・観覧者はマスクをして、廊下からご覧ください。
- ・採暖室と更衣室（シャワー室を含む）の利用は原則1組に限ります。

介助浴室利用について

- ・介助浴室の利用は、予約制で、原則前日の17時までに申し込みが必要です。
- ・原則1時間に1組。
- *ボディソープ、シャンプーはご持参ください。



多目的ホール・会議室等 利用できます

（土・日曜日 9時～17時）

障がい者団体あるいはその支援団体、ボランティア団体などの活動の場、交流の場として利用できます。
（事前登録が必要）

新年を迎えると、「一年が経つのが早い」事と「新しい年を迎えて改めて何を目標にするのか」という事を、漠然と毎年考えています。特に、年齢を重ねる度に、年月が加速して過ぎ去っていく事は、私たちの誰もが感じている事だと思います。その様に、素早く時間が過ぎていく中、元気なうちに、まだ色々な事に挑戦したいと思って、今年も目標を立てています。今まで、色々目標を立てて、目標を達成できた年やそうでなかつた年等、色々ありました。ただ結局、一年間家族が健康で過ごせることができ、誰にとっても何より良い事かなと思っています。



吹田市立障害者支援交流センター あいほうぶ吹田
(吹田市指定管理者 社会福祉法人さつき福祉会)

吹田市千里万博公園12-27

生活介護事業 06-6816-6895 短期入所事業 06-6816-6897

メール ihope@satsukifukushikai.com ファックス 06-6816-6898

ホームページ <http://satuki-fuku.sakura.ne.jp/ihope/index.htm>

